

事業者等向け 令和5年度放課後課後等デイサービス評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置基準以上の広いスペースを確保しており、運動授業内容に沿いながら器具の設置を行っている。</li> <li>・活動内容に合わせて教室の配置換えを行い、安全に配慮した活動スペースを確保している。</li> <li>・事前に模擬授業を行いスペースを確認し、必要に応じて机を移動させるなど、月毎の課題内容に合わせてスペースを確保している。</li> </ul>
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置基準に基づき、不足なく配置をしている。日々の活動における職員に配置について、取り決めと共有化を図りながら支援に当たっている。毎月定期的に社内研修を実施しており、外部研修で取り入れた内容や、各職員で発案されたアイデアなどを共有しながら、専門性の向上を行っている。</li> <li>・年間通じての社内研修にて、発達障害児への専門的知識の蓄積に努めている。</li> <li>・職員の配置数に関して、送迎スケジュールや児童数など日に合わせて適切に配置されていると感じる。専門性に関して、毎月職員研修を行い、専門性を高めている。</li> </ul>
適切な 支援の 提供	3 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の発達特性を専門的見地を基に客観的に分析し、最適となる指導方法を常に研究している。また、利用者のニーズについて日頃面談を行い、個別支援計画を立て、定期的なモニタリングと合わせて見直しも随時進めている。</li> <li>・保護者・児童の要望に添えられるよう半年に1回の保護者面談、個別支援計画の振り返りを行っている。</li> <li>・定期的に保護者面談を行うだけでなく、連絡帳や送迎等で保護者とコミュニケーションを取り、児童の状況に合わせた個別課題が組まれている。</li> </ul>
	4 運動プログラムが固定化しないようバリエーションを付けた工夫がなされているか	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・予め年間計画を立てており、月ごとに運動プログラム内容を変えている。また、プログラムごとに目標値を定め、目標達成に向けた指導案をそれぞれ計画を立てながら行っている。</li> <li>・児童が意欲的に活動できるよう月ごとに運動プログラムが変更されている。</li> <li>・月毎に課題内容が変わる他、児童の状況に合わせて曜日ごとに変化をつけることがあり、プログラムの固定化はされていないと感じる。</li> </ul>
保護者 への 説明等	5 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験説明会を個別で随時開催しており、参加者へ支援内容や利用負担額についての説明を行っている。また契約時にも、契約内容に沿った説明を確実に実施している。</li> <li>・契約時や保護者面談を通じて支援課題や利用者負担について丁寧な説明を行う機会が設けられている。</li> <li>・体験時・契約時など十分な説明がなされている。また、支援の内容に関してはSNSや連絡帳、送迎時の申し送り時など適宜行われている。</li> </ul>
	6 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	3	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・口頭、連絡帳、電話、LINE、等の手段を用いて、その日の利用者や活動内容や様子について伝えており、情報の共有を実施している。</li> <li>・送迎・玄関対応時に活動の様子や月内の課題について細かくやり取りを行い、支援状況についての共通認識・理解を図っている。</li> <li>・連絡帳や送迎時の申し送り等を通じて教室での様子をお伝えすることを心掛けているが、教室外での児童の様子などはわからないことも多いと感じる。</li> </ul>
	7 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・半年に一回以上の定期面談の他、保護者からの申し出により個別対応での面談を随時実施しており、そこで得られた情報を基に助言を都度行っている。</li> <li>・個別支援計画の見直しの際に面談を実施し、育児に関する支援も行っている。</li> <li>・定期的な保護者面談に加え、児童の状況に合わせて面談や電話での相談など必要に応じて個別に支援がなされている。</li> </ul>
	8 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・申し出を受けた苦情内容について、教室内で全体の共有を行い、苦情解決に向けて管理者や児童発達支援管理責任者を中心とした迅速な対応を図っている。</li> <li>・毎日のミーティングにて細かく情報を共有し、利用者への対応に当たっている。</li> <li>・適切に対応できていると感じる。</li> </ul>
	9 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の家庭事情に配慮し、出来事や伝達について伝え方や伝える媒体について慎重に配慮を重ねながら行っている。</li> <li>・児童に合わせた声かけや指導、保護者の要望に合わせて面談等の実施がされている。</li> <li>・子どもに対しては休み時間や活動中など、保護者に対しては連絡帳や送迎時などにコミュニケーションを取ることを心掛けているが、十分にできているかと考えるとどちらともいえないと感じる。</li> </ul>
10 個人情報に十分注意しているか	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報には鍵付き書庫にて保管をし、インターネット上のデータの取り扱いにおいても漏洩しないように厳重に管理をしている。</li> <li>・個人ファイル等の持ち出し・紛失等が無いよう、事業所の責任者が中心に管理している。</li> <li>・適切に管理されている。</li> </ul>	

事業者等向け 令和5年度放課後課後等デイサービス評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
満足度	11 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年の訓練時期を予め定めており、職員と利用者の両方の訓練を定期的に行っている。</li> <li>・年2回の避難訓練にて、職員・児童の災害時における避難練習を行っている。</li> <li>・年に2回、1週間を通して避難訓練が行われている。</li> </ul>
	12 子どもの社会性*2とコミュニケーション力*3は向上したか	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団活動を中心とする中で、社会性とコミュニケーション能力の向上を図るべく、プログラムの提供と併せながら、利用者の日々の教室内での行動や発言といった面でも都度支援を行っている。</li> <li>・活動を通じて、協力を必要とする場面の設定や、適切なコミュニケーション指導を行い、相手に配慮した会話のする児童が増えている。</li> <li>・程度の差はあるがどの児童も向上されていると感じる。</li> </ul>
	13 子どもの運動能力・協応動作*4は向上したか	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動授業の内容について、目的と成果を明確にし、指導内容を細分化して成功体験を積みながら運動能力と協応動作の向上が図れるように工夫を行っている。</li> <li>・毎月の運動授業における教室目標を中心に指導を行い、運動能力・協応動作の向上に努めている。</li> <li>・程度の差はあるがどの児童も向上されていると感じる。</li> </ul>
	14 子どもの視覚認知機能*5は向上・改善したか	3	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚トレーニングを中心に、眼球運動の強化を図っている。プログラム内容については毎月更新がなされており、利用者に対して常に工夫された課題を提供しているため、視覚認知機能の向上が行われている。</li> <li>・日課の活動を通じて、視覚認知機能の向上に向けた指導を行っている。視写課題や聞き取り課題にて枠からはみ出しが多い児童には枠を作成したプリントを用意する等、個別での指導も行われている。</li> <li>・向上されている児童が多いが、項目②、項目③に比べるとまだ結果として現れていない児童もいると感じる。</li> </ul>
	15 子どもは通所を楽しみにしているか	2	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が楽しく通所ができるように、運動や座学を通じて成功体験を積み、次回の来所を促進できるようなプログラムの提供を行っている。課題を通じて新しい事ができるようになる喜びを得ることで、大半の児童達や保護者から「すきぶが楽しい」といった声を聞くことができています。</li> <li>・活動後に「楽しかった」「また来週頑張る」「もっとやりたい」等の活動課題に関する意欲的な発言が児童から見られている。</li> <li>一方で苦手な課題や嫌いな活動が多い月は「やりたくない」等の発言が見られることがあるが、児童の気持ちに寄り添い、話を聞き活動に対する明確な目標設定を行うことで児童の活動意欲の低下を防いでいる。</li> <li>・ほとんどの児童が行き渋りなく通所していると感じるが、課題内容や疲労などにより一時的に意欲が下がる児童もいると感じる。</li> </ul>
	16 事業所の支援に満足しているか	3	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容の成果を、保護者へ口頭や動画で直接的に伝える事で、児童の成長を実感頂いている。保護者としても児童としても、当事業所を必要として頂いている声を日々受けており、成果を出し続けることで今後も利用者の期待に応えていきたい。</li> <li>・多くの児童が個々の課題をそれぞれクリアしていく一方で、個別支援計画の短期目標が未達成・継続の児童も少なからずいるため、一人でも多くの児童が課題をクリアして先に進むことが出来るよう、支援に努めている。</li> <li>・どの児童も必ず成長が感じられる点があり、支援が実を結んでいるように思う。</li> </ul>